

科目番号	科目名	開講年次	学期	授業形態	単位	担当教員
	日本国憲法	1年次	夏	講義	2	吉良 貴之
授業概要						
日本国憲法の基本的な仕組みについて講義する。とくに、子どもや家族、ジェンダーにかかわる身近な人権問題・法律問題を多く取り上げる。						
到達目標（学習の成果）						
日本国憲法の基本的な考え方を身につけ、自分なりの問題関心にあてはめて述べられるようになること。また、各種の社会問題について、憲法や各種の法律、人権や民主主義との関係を意識的に考え、講義で扱った知識をもとに述べられるようになること。						
授業計画						
回	表 題	学修内容				
1回	ガイダンス	講義の概要、学習の進め方と目標について理解する。				
2回	日本国憲法の成り立ち	日本国憲法の制定過程を踏まえ、基本原理を理解する。				
3回	基本的人権 (1)	「人権」の基本的な考え方を理解する。				
4回	基本的人権 (2)	精神的自由を中心とする人権について理解する。				
5回	基本的人権 (3)	経済的自由や社会権を中心とする人権について理解する。				
6回	子どもと人権 (1)	子どもにかかわる人権問題の基本を理解する。				
7回	子どもと人権 (2)	教育を中心に、子どもにかかわる人権の理解を深める。				
8回	家族と人権	家族にかかわる人権問題の理解を深める。				
9回	ジェンダーと人権	ジェンダーや性にかかわる人権問題について理解する。				
10回	統治機構	日本国憲法での統治機構の仕組みについて理解する。				
11回	立法	国会の立法権について理解する。				
12回	行政・地方自治	行政と地方自治の基本的なあり方について理解する。				
13回	司法	裁判員裁判などを例に、司法のあり方を理解する。				
14回	憲法と民主主義	民主主義社会での憲法の役割や立憲主義について理解する。				
15回	まとめ	これまでの講義をふまえ、憲法の考え方をまとめる。				
準備学修（授業外の自己学修）						
返却された小テストを毎回復習し、不十分だった箇所については教科書・参考書を読んで十分に理解しておくこと。また、日頃から新聞などをよく読み、子どもにかかわる社会問題などについて、どのような法的問題があるかを意識的に考えることが望ましい。						
成績評価の方法・基準（%表記）						
授業中に毎回、10分程度の小テストを行い、翌週、添削して返却する（講義で扱った基本的な知識を問う。出席点も兼ねる。50%）。学期末の試験またはレポート 50%（自分なりの問題関心を憲法にあてはめて考え、論述できるかどうかを問う）。						
教科書						
後藤光男『図解雑学 憲法』（ナツメ社、2004年）1400円＋税 毎回、レジュメ配布またはスライド上映を行う。						
参考書等						
杉原泰雄『憲法読本（第3版）』（岩波書店〔岩波ジュニア新書〕、2004年）920円＋税、金城清子『ジェンダーの法律学（第2版）』（有斐閣、2007年）1800円＋税、など。						

履修上の注意

憲法や法律、判例の知識などは前提としない。身近な時事問題にあてはめて考えることができるよう、日頃から新聞や各種のニュースをよく読んでおくこと。

学修支援

疑問点がある場合は、授業中や終了後など、いつでも気軽に質問・相談してください。メールでの質問も受け付けます。また、教員ホームページ (<http://jj57010.web.fc2.com>) に授業資料を UP するので、学習に役立ててください。